

## 第8章 一女子部38年の足跡—

昭和29年に発足した女子部ですが、50周年を迎えるにあたりアンケートを行ない、それぞれの時代の活動の様子や思い出、こぼれ話などをまとめてみました。女子は女子なりにどの時代にも苦労がありました。これを機に先輩、後輩のつながりをより深め、現役の学生の為に役立っていくことが出来ればと思います。以下、アンケートから抜粋させていただきます。

＝アンケートより＝ (解答39人中32人)

### 1. 当時のクラブの雰囲気について。

・人数も多く、和気合々の雰囲気でしたが、練習会場が決まっていなかったもので、ジグジーのように会場回りをしました。練習相手はよりどりみどりで、コートに入れた時は思う存分練習しました。

(33年 片石)

・部員数に見合う練習場、コート数があまりに少ない為、1954年、55年頃は、トレーニングやランニングに終始して練習が終わってしまう事がよくあり、コートに入れると本当にうれしかった。

(33年 牧)

・女子は夕方5時半から、7時半頃迄の練習が多く、数少ないコートで声をかけ合いながら、実戦に役立つようなプレーをしようという気持ちが強かったと思います。

(34年 今井)

・2年上の片石さん達が全国レベルの実力を持っていらしたので、後輩の私達は楽しく練習していました。3年生になって心細い思いをしました。4年間を通してコーチ陣に恵まれました。

(35年 大澤)

・幼稚舎、反町等、流浪の民のようでしたがそれはそれで楽しく、途中で記念館が出来て、晴れがましい思いもさせていただき、両極端の思い出が出来ました。“みんな”や“渋谷”等での食事が忘れられません。

(36年 長堀)

・女子は3、4年生がいなく、先輩は2年生2人という状態で、男子が強かったせいもあり、“お飾りの存在”だと思っていました。

(45年 広本)

・当初、女子は男子のジャズにならないように…でしたが、少しずつ女子の存在が認められるようになりました。

(46年 川崎)

・女子は女子でスケジュールをたてて練習していました。あいている男子がいる時にコートに入って練習をもらいました。女子のまとまりも良く、仲良しで楽しかったです。

(48年 沢谷)

・男女一緒に体操やラニーングもして、仲良くやっていました。トレーニーングはきつかったけれど、男子と同じにやったので、力がつきました。

(51年 福山)

・入部当初、男子が強く、女子はおまけと言う感じで、常に気を使ってコートの隅で練習していました。少しずつ女子の存在を認めもらえるようになり、男子にも随分練習相手をしてもらいました。練習はきつかったけれど、終わってから“コロラド”や“ケンタッキー”でお茶を飲むのが楽しみでした。

(55年 茂木)

・女子は人数が少なかったなので、試合に関しても、男子の成績が悪いと、暗い雰囲気と一緒にのみ込まれてしまいがちでしたが、そんな時、OB、OGの方に女子の戦績を認めていただけると、大変うれしかった。

(56年 川村)

・かなり厳しい練習でした。下級生の時ほど緊張感がありました。

(57年 松尾)

・1、2年生の時は、あまり明るい雰囲気ではなかったが、みんなでお茶を飲みに行ったり、食事に行くのが楽しみでした。3、4年生になつてからは、合理的なトレーニーングも入って、後輩を励ましたり、励まされたり、明るく楽しい雰囲気でした。

(58年 荒木)

・3年生位から合理的なトレーニーングも入って、ミーティングも多くなり、明るく楽しい感じになりました。

(59年 森田)

・人数が多くにぎやかで、かつ団結していましたが、男女間で練習に対する姿勢や考え方が対立する事もあり、悩んだりもしました。

(60年 早坂)

・何かというトピッドミントソ議論をしていました。皆、熱心で理論を

勉強してきたり、サントリリーや筑波大から練習方法を仕入れてきたりする人が常について、練習も充実していたと思います。同期は人数も多く、ワイワイと仲良くやっていました。特に下級生の時は、全員で毎日罰則を頂戴したのがこれまた楽しかったです。

(60年 池田)

・下級生の時は上下関係が厳しく、練習中は緊張感が漂っていましたがたまに行なう“缶けり”や“ソフトボール”などは和やかでした。

(61年 永井)

・1年生の時は楽しかったのですが、あとは余裕もなく、あまり楽しい雰囲気ではありませんでした。もつとなごやかでも良かったと思います。

(63年 鈴木)

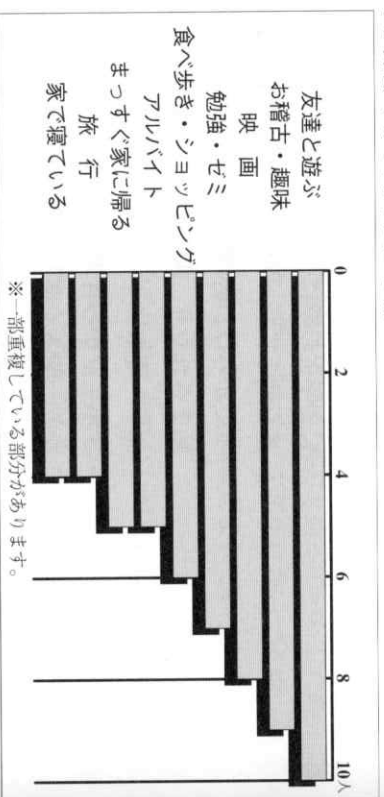
・1、2年生の時は、上級生(男子)の人数も多く、体力的にもきつくて、顔をひきつけて練習していたし、楽しいと思うことはあまりなく、やめたい、やめたいと思っていました。3、4年になってやっとバドミントンが楽しくなってきました。練習後はよく日吉裏にごはんを食べに行きました。

(H4年 酒井)

・練習中の雰囲気は、その年の主将によって左右されていました。練習後は、練習のこと、部員の噂話に花を咲かせていました。

(H4年 小沢)

## 2. 練習のない時の過ごし方



・3、4年生ではゼミにも入っていたので、而立させるため少々勉強に努力していました。旅行や食べ歩き等々、やりたいことは全部やっていたような気がします。いつも忙しくて、でも楽しい日々でした。  
(47年 大矢)

### 3. 特に印象に残っている練習について

(重複も多かったもので以下にまとめます。)

- うさぎとびや腹筋 (ノータッチ3本でうさぎとびをする。)
- 男子との2対1 (オールクリヤー、オールロング、オールショート、フリー等。)
- 2対1で10~20分交代でコート进行。(2面回し~8面回し。2時間55分続けた代もあったそうです。)
- 相手を幻惑する奇襲作戦の逆カットの練習。(35年頃)
- 相手コートのコーナーにタオルで三角地帯を作り、そこにシャトルを落とす。
- 2重飛び (なわとび) を1000回する。
- 他校との合同練習

・ 1年の夏の富山合宿。男子が頭から水をかぶっていたこと。毎日のように女子はおにぎり作り。そして合宿後、部員全員で宇奈月温泉で納会をし、黒部峡谷へ旅行に行きました。

(45年 伊丹)

・ ランニングをよくしました。クロスランナーは好きでしたが、トラックを何周もただ走り続けるのはイヤでした。

(55年 波多野)

・ 日吉の記念館での4面まわし。相手が石井さんと馬場さんで、馬場さんのフェイントドロップを1球も返せなかった。豊田の合宿では着いた日の夕食のあとに、トラックを20周しました。インターバルダッシュは全てダッシュでした。

(60年 米倉)

### 4. 特に印象に残っている試合 (抜粋)

・ 1958年 (昭和33年) 春、東京都バドミントン選手権大会で女子ダブルスに同期4人が勝ち進み決勝戦をした事。(藤井・成願組優勝、平岡・岡本組2位) 翌年の秋に記念館落成の際の柿落としでエキジビションマッチをしました。

(35年 土田)

・ 新人戦で優勝したこと。私は長身の方でしたので、夢中でコートを駆けめぐり、浅い返球はスマッシュして点に結びつけました。

(36年 水谷)

・ 4年の慶早戦のシングルスで楽に勝てると思っていた相手に負けたこと。それが現役最後=我がバドミントン人生最後の試合だったと

思うと無念です。寝過ぎて出られなかったリーグ戦、観覧席で応援していた気持ちは、今でも思い出すと冷や汗が出ます。

(56年 後藤)

・入部したてに4部に降格し、3度目の正直で3部に上がって本当にうれしかったです。

(H3年 酒井)

### 5. 慶早戦の思い出

・女子の対抗戦はあったりなかったりでした。目黒のドレムの体育館はまだあるのでしょうか。観客席とコートが近くて、後に下がるのがよかった。

(33年 牧)

・何かにつけて伝統の重みを感じました。

(56年 川村)

・他のリーグ戦とは違った、独特で伝統のある雰囲気が好きでした。1年生のとき、最優秀新人賞をいただきました。4年間、塾長招待の東天紅に呼ばれたのも、慶早戦のおかげです。

(58年 荒木)

・実力差が大きく、団体としての勝利は考えたこともありませんでした。個人として、1部校のレギュラーにどこまで食い下かれるか、実力試しの場であり、チームとしてリーグ戦へのムードを盛り上げるチャンスと考えていました。私が4年の時から、応援指導部のブラスバンドが入り、応援が派手になったせいもあって、全塾の代表という立場を強く感じ、誇りに思いました。

(64年 松尾 (肇))

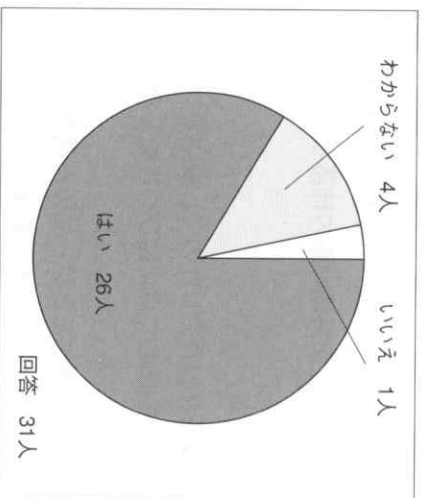
### 6. 体育会に入って良かったと思いますか。

「はい」の理由

- ・充実した青春時代を過ごせたと思います。
- ・一生のうち、あれほどスポーツに打ち込むことは、もうできないでしょう。
- ・多くの友人、先輩、後輩、仲間を得られました。
- ・上下関係の大切さ、勝負の厳しさを経験できました。
- ・同世代の方々と苦勞しながら4年間過ごせたことは、今日まで私の心の糧となっています。

「いいえ」の理由

- ・2度と出来ない貴重な経験だったと思いますが、ま



るつきり違う生活を送ってみたかっただと思います。

「わからない」の理由

・体育会に入ったことに悔いはないが、入らないという体験はしなかったのだからまだ良かったのかどうか結論はだせない。

◎充実した青春時代を送れた気がします。体育会の部員であった事を誇りに思っています。

(48年 野口)

7. 体育会での4年間で仕事や家庭生活に役立っていると思われる事。

・努力次第で何でもできるという精神力・忍耐力・根性が身につきました。

・自分自身の性格形成に役立っています。

・物事をあっさり考えられる。

・いざという時の集中力と根気が養われました。

・目上の方に対する礼儀、気配り、他人との協調性が身についたと思います。

・健康、元氣、体力の基盤が出来ました。

・バドミントンを通じての友人が出来たこと。

・自分を100%活かしていると自信を持てること。

・体育会出身ということで、社会に出て信用される。(就職活動に役立ちました。)

◎私の場合は、特に雑用が多かった事もあり、人の為に何かをするという事が自然に受け止められるようになりました。学連で覚えた書類の書き方や、議事録のとり方、各会社の広告とり、あいさつまわりなどは、会社勤めをしてからの“秘書”という仕事にとっても役に立ったと思います。学連をやったことで、慶応という1つの枠の中にとどまらず、様々な学校の、いろいろな社会を知ることが出来た事も大変勉強になりました。

(57年 伊能)

8. これからの部員へのアドバイス

・部員を確保する努力をして下さい。

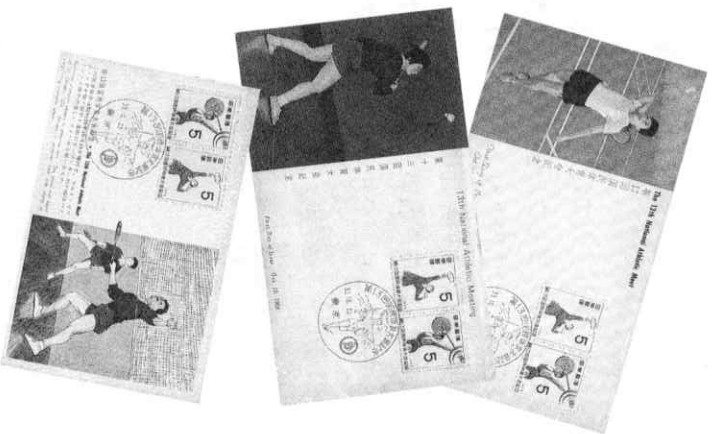
・苦しいと思った時やめてしまわないで楽しさを見つける努力をして下さい。

・今しか出来ないことを精いっぱい頑張ってください。

- ・「継続は力なり」—4年間で終わってからわかります。
  - ・一生懸命やったことがきつと心の支えになります。
  - ・結果がどうあれ、最後までやり通したという自負が残れば、それがこれからの人生にも大きく影響すると思います。
  - ・今、こんなことをしてどうなるのか、何の役に立つのだろうと思うことが、いつか何かの形で生きる時があるようです。若い時に何かに熱中した経験は、心の中の宝石のひとつ。「今」を大切に積み重ねて下さい。
  - ・青春時代に打ち込めるものを持つことは素晴らしいことです。
  - ・レギュラーでなくても、とにかく4年間続けて下さい。その後の人生に、その経験が生かされる時が多々あります。
- 最後になってしまいました。皆様お忙しい中、アンケートに御協力いただきましてありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

## 富山国体記念切手発売

片石 (佐藤) 千鶴子 (昭和33年卒)



1958年(昭和33年)、第13回国民体育大会記念として、ウエイトリフテイングと、バドミントンが選ばれました。

当時、2団体が1組となり、発売されていたのですが、どの様な順番であったかは、わかりませんが、森友先輩であったのは、当時全日本協会の理事長が故人的存在であった為かと思われまます。

練習会場であった幼稚園の体育館へ、郵政省よりカメラマンと企画スタッフの人々がお見えになり、高橋と私がプレーする場面を撮り、そのフィルムを参考にして、力強さと動きのあるものを描き、切手と写真つき封筒、及び絵葉書を作製し、発売したのです。

同時に郵政省より発売されていた本に「バドミントンと私」という題で原稿を依頼されて、過分なる原稿料を頂戴し、びっくりした思い出があります。

## こぼれ話

土田 (岡本) 佳子 (昭和35年卒)



1958年 (昭和33年) 1月19日、第13回国民体育大会の記念切手2種が発行された。図柄はバドミントンと重量挙げであった。バドミントンは、女子選手がラケットを高くあげ、シャトルコックを打った瞬間のポーズ…この切手のモデルは、33年卒業の故上杉桂子さんなのである。卒業を前にしたある日、当時の幼稚舎体育館で練習中、その撮影があった事を記憶している。その後、見事な切手として発行された時は感激したものであった。今、この切手を見ると、今は亡き、上杉さんの当時の姿が鮮やかに蘇って懐かしいばかりである。

## 女子部写真

※ (なお、( ) 内は全て旧姓。)

1956年 (昭和31年) 10月31日

秋期リーグ戦優勝

後列左より

大沢 (成瀬)・浅利 (岩田)

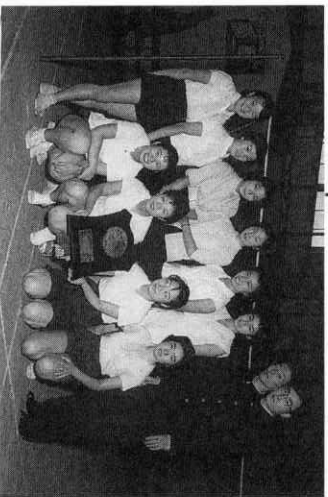
竹内 (石田)・菅野 (宮原)

土田 (岡本)・平岡

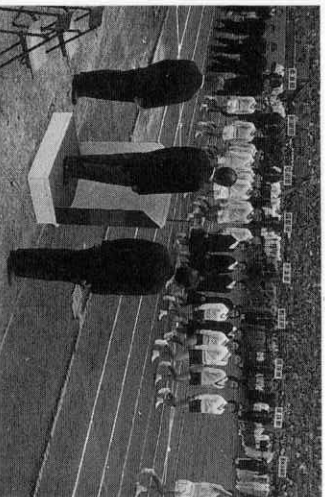
前列左より

片石 (佐藤)・故上杉 (高橋)

牧 (藤林)・今井 (藤井)



1959年 (昭和34年) 10月  
体育会創立70周年レヴュー

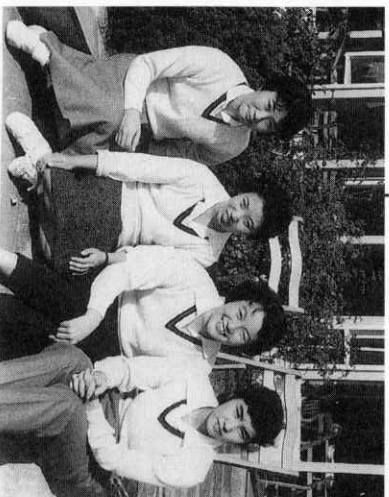


1959年 (昭和34年) 11月

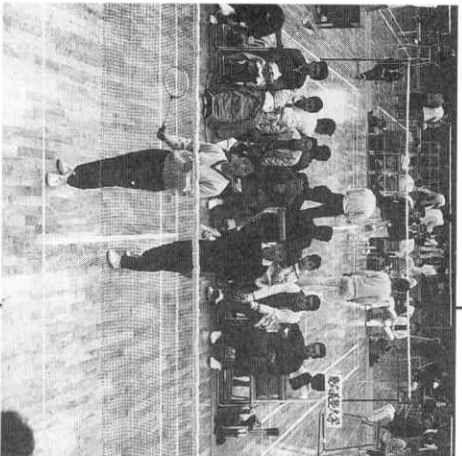
全日本学生選手権 (於：久留米)

水谷 (中村)・土田 (岡本)

・大沢 (成瀬)・平岡







1965年(昭和40年)  
女子団体戦  
水野・甘粕組

1969年(昭和44年)9月  
第17回早慶戦  
後列(左より)  
川崎・松本(北島)・広本(富田)  
・野口(堀切)・沢谷(田村)  
前列(左より)  
木村(五味)・伊丹(三原)  
・金岡(小池)

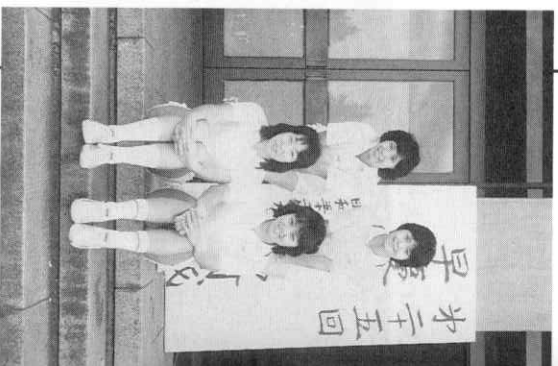


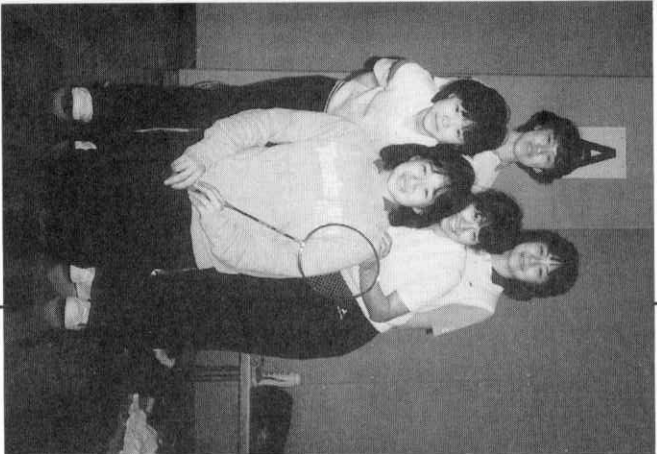
1976年(昭和51年)  
秋期リ－ウ戦  
(於：お茶大)

1979年(昭和54年)  
夏合宿(於：木島平)  
後列(左より)  
川村(大関)・茂木(中村)  
・後藤・波多野(山本)  
前列(左より)  
荒木(笹野)・松尾(松田)



1977年(昭和52年)  
第25回早慶戦(於：日吉)  
波多野(山本)・川村(大関)  
茂木(中村)・後藤





1983年(昭和58年)  
春合宿  
池田・永井(臼井)  
米倉(酒井)・早坂(大山)  
森田(小川)

1985年(昭和60年)8月  
東日本学生選手権大会(於:仙台市)  
永井(臼井)・鈴木(慶)  
鈴木・松尾



1985年(昭和60年)11月  
全日本学生選手権大会  
(於:兵庫)  
永井(臼井) 淳美



1989年(平成元年)  
女子部室にて  
鈴木・小沢・寺島・松尾  
・酒井・緒方

